JAうつのみや

アグリジャンプ 9

2026 September

no.342

❷ 農Like!農Life!
❸ HOT NEWS! 管内生産者名誉賞 受賞祝賀会
❹ 特集① アグリスクール
❻ 特集② 盗難防止に向けて
❼ JA news & Topics
⓬ 営農情報
⓭ 青壮年部News
⓮ レシピ／直売所情報
⓯ 健康百科／資産管理講座
⓳ 事業所だより

Instagram

公式HP

JAうつのみやイメージキャラクター
ジャンプくん

耕そう、大地と地域のみらい。

農Like!農Life!

熱意ある農業者を紹介

JA職員から梨農家へ。地域で支え合いながら、次の世代へ産地をつなぐ。

Q 就農したきっかけなどを教えてください。

A もともと実家が梨農家で、「いずれは継ぐんだろうな」と漠然と考えていました。県外の大学を卒業後は地元で就職したいと思い、JAうつのみやに入組。米やLA（ライフアドバイザー）、金融渉外などの業務を経験しました。2018年、実家の梨農家を継ぐためにJAを退職し、就農しました。若いうちに始めた方がいいと思っていたことも、決断のきっかけでした。

Q 梨づくりはどのように学びましたか？

A 基本は父から教わりました。それに加えて、梨の研究部での研修や、地元の先輩・仲間との情報交換からも多くを学んでいます。分からないことがあれば相談できるのは、梨専門部の大きな強みですね。みんな悩みも同じようなものなので相談しやすいですし、生産者同士のつながりの強さを実感しています。

Q 栽培で大切にしていることは？

A 近年は暑さや雨の降り方など、気候が大きく変わり、これまでの常識だけでは作りづらくなっていると感じます。だからこそ、情報を早めに取り入れることを心がけています。研究部や仲間との横のつながり、先輩方との縦のつながりから情報を共有し、病害虫の発生状況などを確認しながら対応しています。また、防除は梨専門部で定められた防除暦に信頼を置いています。何事も基本を大切にしています。

Q 生産者になって、JAや梨専門部との関わりで感じることは？

A JAにいたときと、生産者になった今では、見えるものが全然違いますね。実際に生産者になってみて、JAや梨専門部に支えてもらっていることを実感しています。特に梨専門部は、生産者同士のつながりがしっかりしていて、分からないことを相談できるのも心強いです。生産者になったからこそ、JAや梨専門部のありがたさを改めて感じています。

Q 今後の目標を教えてください。

A 規模を大きくするより、まずは今あるものを持続させ、安定した生産につなげたいです。そして、梨産地を次の世代へつないでいきたい。この地域にも若い生産者が増えているので、みんなで支え合いながら、その次の世代まで産地が続いていけばと思っています。これからも、皆さんに喜んでいただける梨を一生懸命作っていきたいです。

若林（わかばやし） 貞将（さだまさ）さん（42歳）

梨専門部　研究部長

清原支所管内

経営内容　梨、その他果樹

HOT NEWS!

名誉賞受賞を喜ぶ石戸さん（右から2人目）と関係者

受賞経過報告を聞く出席者ら

「名誉賞」と刻まれた表彰楯とカップ

28年の肥育技術が結実 石戸さん名誉賞

第28回全農肉牛枝肉共励会

JAうつのみや管内で肉用牛の肥育に取り組む石戸榮さんは、第28回全農肉牛枝肉共励会で全国最高位となる「名誉賞」を受賞しました。同JAは7月31日、栃木市の炭火焼肉おおつか栃木店で祝賀会を開催。JA関係者や行政、関係団体などが快挙を祝いました。

受賞牛「康丸号」は、18県から出品された和牛・交雑牛339頭の中から選ばれました。枝肉重量は606キロ、格付けはA5、さしの度合いを示す脂肪交雑基準（BMS）ナンバーは12を記録。せりで1キロ当たり1万4000円で落札され、同共励会の歴代最高単価となりました。

祝賀会では、佐藤俊伸組合長が、名誉賞受賞は管内や県の畜産レベルの高さを全国に示すものと祝福。地域ブランド力の向上や、後継者をはじめとした担い手の増加による地域畜産の活性化に期待を寄せました。

石戸さんは、受賞の喜びと支えてくれた家族や関係者への感謝を述べ、「肥育を始めて28年。共励会も28回ということで、何か縁があったのではないかと思う。75歳の節目に、良いご褒美をもらった」と話し、「健康に気を付けながら、できる限り続けていきたい」と抱負を語りました。

受賞牛を落札した有限会社丸金おおつかの大塚進代表取締役は、石戸さんが長年培った肥育技術をたたえました。また、「栃木の牛が一番良いというPRをしていきたい」と県産牛の魅力発信に意欲を示しました。

炭火焼肉おおつかで提供される受賞牛

農業のために 地域のために 明日のために
JA共済の地域貢献活動 ©2017 JA-KYOSAI

2026年度JAくらしの活動「アグリスクール」スタート！

「アグリスクール」は、年間を通して農業体験や自然学習などを行い、食と農について楽しく学ぶ場です。A～Eの5つのコースに計24組の皆さまが参加し、地域の農業や自然とのふれあいを通じて、食の大切さや農業への理解を深めています。

今回は、5月から7月に開催した体験の様子を、参加者のコメントとともにご紹介します。

Aコース

泥んこになって、田植えに挑戦！

5/17（日）田植え体験

宇都宮市上欠町

参加者の声

田植え体験は初めてでした。泥がぬるぬるしていて、冷たくて気持ち良かったです。泥の中に手を入れるのが楽しかったです。

たのしかー

田んぼの生き物を探してみよう！

7/20（月・祝）田んぼの生き物調査

宇都宮市上欠町

参加者の声

初めは田んぼに入るのが少し怖かったですが、魚をたくさん捕まえられて楽しかったです。

Bコース

おいしい梨を育てる大切な作業！

5/23（土）梨摘果体験

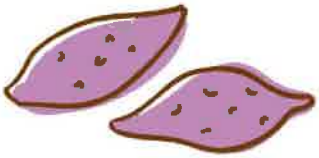
宇都宮市上籠谷町

参加者の声

最初は小さな実がこんなにたくさんついているとは思いませんでした。実を一つだけ残す作業は、葉を切らないようにするのが難しかったです。

Cコース

秋からスタート!



初回は10/10(土)。「さつまいも収穫体験」を開催予定です。
秋の味覚を収穫しながら、農業の楽しさを体験します。

Dコース

旬の野菜を収穫しよう!

6/13(土)たまねぎ・じゃがいも収穫体験

下野市絹板

参加者の声

タマネギは地面から頭が見えていて、思ったより簡単に収穫できました。ジャガイモは土の中からたくさん出てきて楽しかったです。

Eコース

※大人向け

育てることから始まる、食の楽しみ。

5/23(土)園芸教室「プランターできゅうり栽培」

宇都宮市上籠谷町

参加者の声

家庭菜園は自己流だったので、接ぎ木など初めて知ることも多く、勉強になりました。作物を育てる大変さを改めて感じました。教わったことを生かして、おいしいキュウリを育てたいです。

生産者に注意を促す警察署員

出発を見送るJAの役職員

実施している盗難対策などを話す生産者

地域の連携で農業を守る 合同パトロール

河内地域農作物等盗難防止対策連絡会議

河内地域農作物等盗難防止対策連絡会議は8月5日、JAうつのみや管内で「河内地域農作物等盗難防止合同パトロール」を行いました。

管内では農作物などの盗難被害が毎年発生しており、2026年度に入ってからもトウモロコシ約1000本や側溝のふた10カ所が盗まれる被害が報告されています。

出発式にはJAの役職員、行政担当者、宇都宮中央警察署の署員ら19人が参加。パトカーとJA、行政の公用車計3台が巡回に出発しました。管内の農家4戸を訪問し、警察署員が生産者に盗難防止対策を説明してチラシを配布。梨農家の安納和将さんは「梨は年に一度しか収穫できないため、盗まれるのはショックが大きい。不審者や不審車両への声かけをしてほしい」と要望しました。

再度確認! 被害に遭わないための盗難防止対策

農作物の盗難防止対策のポイント

❶ ほ場に防護柵を設置する
❷ ほ場出入口を南京錠などで施錠する
❸ ほ場周囲に警報センサーを設置する
❹ ほ場付近に防犯カメラを設置する

農業機械の盗難防止対策のポイント

❶ 農業機械の鍵は抜き取る
❷ 農業機械は納屋や倉庫に格納する
❸ ハンドルロックなどを活用する
❹ 格納庫などに防犯カメラや センサーライトを設置する

できることから始めましょう。

具体例

網をめくられないよう、アンカーでしっかり固定

のぼり旗を設置し、注意喚起

秋冬作へ栽培管理確認　JAほうれん草専門部

資料を確認しながら説明を聞く参加者

JAほうれん草専門部は7月7日、JA南河内支所でホウレンソウの栽培講習会を開き、秋冬作に向けた品種選定や栽培管理のポイントを確認しました。専門部員や県、JA、種苗会社の担当者ら約50人が参加しました。

県下都賀農業振興事務所の担当者は、9月まきには晩抽性と耐暑性に優れた品種、12～1月まきには耐寒性品種の導入を勧めるとともに、土壌分析に基づく施肥や排水対策、病害虫の早期防除など、安定生産に向けた管理の徹底を呼びかけました。また、種苗会社6社が品種の特性や栽培のポイントを紹介しました。

収穫に向けて 各地のほ場で現地検討会　JA

説明を聞く参加者

JAは7月9、10日の2日間、各営農経済センター管内の4会場で水稲現地検討会を開き、各会場に約30～50人の水稲生産者が集まりました。

県河内農業振興事務所の担当者が、今後の肥培管理や水管理、病害虫対策などを説明。JAの担当者は、栽培管理支援システム「ザルビオフィールドマネージャー」を活用し、現在のほ場状況や今後の生育予測を報告しました。特に昨年、県南地域で被害が多発したイネカメムシを取り上げ、斑点米カメムシ類との違いや適切な防除時期を案内。管内でも生息が確認されていることから、対策の徹底を呼びかけました。

高温対策でイチゴの安定生産へ　JA苺専門部

現地で生育状況を確認する参加者

JA苺専門部は7月、支部ごとに現地検討会を開き、延べ約100人が参加しました。

宇都宮支部の横川地区では14日、生産者ほ場5カ所を巡回。生育状況を確認しながら、かん水方法や病害虫防除などについて情報を交換しました。

総合検討では、JAの担当者が育苗管理のポイントなどを説明。高温対策を可能な限り講じることや、茎葉のしおれや培土の乾燥状況を確認し、天候や気温に応じてかん水量や回数を調整するよう呼びかけました。また、高収量を確保するため、クラウン径を大きく育てることが重要とし、育苗期間中は肥料切れを防ぐよう案内しました。

夏秋ナス本格出荷へ 栽培管理を確認　JA茄子専門部

参加者に栽培管理のポイントを説明する担当者

JA茄子専門部は7月21日、夏秋ナスの現地検討会と販売対策会議を開きました。

現地検討会は上三川町と下野市の2カ所のほ場で実施。ほ場主が面積や品種、定植時期などの栽培概要を説明した後、コーエー株式会社の担当者が整枝・剪定方法などを指導しました。県河内農業振興事務所の担当者が、整枝剪定や病害虫防除、自然災害への対応について説明。参加者は肥料設計や薬剤散布間隔などをめぐり、意見を交わしました。

販売対策会議では、2026年度の出荷計画や販売情勢を共有し、JAと生産者、市場が連携して有利販売につなげることを確認しました。

周年出荷へ 夏季の施設管理を確認　JA球根切花専門部

ユリの生育状況を確認する参加者

JA球根切花専門部は7月23日、宇都宮市の生産者5人の園地を巡回し、現地検討会を開きました。ユリの生育状況を確認し、盆需要に向けた栽培管理を共有。県河内農業振興事務所の担当者は、循環扇や暖房機の送風機能によるハウス内環境の均一化、ヒートポンプによる夜冷、遮光による日中の蓄熱抑制など、夏季の施設管理について説明しました。施設内の温度を把握し、適切に管理するよう呼びかけたほか、JAの担当者は秋口以降の出荷を見据え、計画的な植え付けを呼びかけました。

同専門部は周年出荷に取り組み、現地検討会などを通じてユリの品質向上を図っています。

「幸水」適熟出荷へ 4支部合同で目ぞろえ　JA梨専門部

「幸水」の色や形状を確認する参加者

JA梨専門部は7月24日、JA東部選果場で4支部合同の露地栽培「幸水」の出荷目ぞろえ会を開きました。協議で出荷規格を確認し、①収穫時のカラーチャート1.5厳守②病虫害果などの傷害果を出荷しない③適熟出荷――などを申し合わせました。

目ぞろえでは、市場担当者やJAの技術顧問が中心となり、現物を使って着色や形状を確認。果肉の成熟が果皮の着色より進んでいることから、取り遅れのない適熟収穫・出荷を促しました。県河内農業振興事務所の担当者は、「幸水」の果実肥大が平年並みまで回復し、今後も肥大が進む見込みと説明。基準に沿った収穫を呼びかけました。

組合員の声 事業運営に反映へ　JA

JA職員の説明を聞く事業運営委員

JAは7月下旬の3日間、2026年度事業運営委員意見交換会を営農経済センターごとに5カ所で開きました。組合員の中核的役割を担う事業運営委員とJAの役職員が意見を交わし、農業振興や地域活性化につなげます。

24日にJA南部営農経済センターで開いた同会には56人が出席。JAの職員が自己改革の実践状況や「地域農業振興計画」の進捗状況を報告したほか、定期貯金や農業資金、農業者賠償責任共済、水稲土づくり肥料など、各部門の取り組みを紹介しました。

事業運営委員からは、地域農業振興計画の達成に向けた規模や収量など具体的な目標値の設定や、スマート農業導入時の費用対効果の提示などについて意見が出されました。

夏場の栽培管理を確認 ネギの品質向上へ　JAねぎ専門部

ネギの生育状況を確認する参加者

JAねぎ専門部は7月28日、現地検討会と栽培講習会を開き、生育状況を確認するとともに、夏場の栽培管理や病害虫対策について理解を深めました。現地検討会は上三川町の生産者ほ場で実施。JA職員が施肥や農薬散布履歴、管理作業など栽培概要を説明し、参加者は生育状況を確認。高温期の栽培管理や収穫時期などについて意見を交わしました。

検討会後はJA上三川野菜集荷所で栽培講習会を開催。株式会社小池勝次郎商店（農家の専門店こいけや）の北村啓太営業部長が講師を務め、夏越し後のネギの株数を80％以上保持し、Lサイズ以上を収穫するための管理ポイントを説明しました。

就農者確保へ イチゴ農作業を体験　JA

参加者に育苗管理を説明する生産者

JAは8月1日、JA管内のイチゴ生産者2人のほ場で「第1回いちご農作業体験会」を開き、県内外から8人が参加しました。育苗方法の見学などを通じ、イチゴ栽培への理解を深めました。

体験会は将来的な就農者確保につなげるため、2022年度から開催しています。当日は育苗ハウスや管理作業を見学し、生産者が栽培概要や就農のきっかけ、経営の実際などを説明。

参加者は経理やパート従業員の育成、栽培管理の工夫、作業の省力化、農地の確保などについて質問しました。終了後は、JAの職員と生産者が個別に就農相談に応じました。

©2017 JA-KYOSAI

JA news Topics

北部営農経済センターで作業に取り組む生徒

高校生がインターンシップで就業体験（7月7～9日）

JAは県立宇都宮商業高校2年生を対象としたインターンシップ（就業体験）を受け入れました。

こども食堂で調理する藤田桂子支部長（左）と会員

みどり会平石支部がこども食堂を支援（7月13日）

JA女性組織みどり会平石支部は、昭和こども食堂で調理ボランティアを行いました。

牛舎内で情報を共有する生産者ら

宇都宮農業協同組合和牛改良専門部会技術向上に向け視察研修（7月16日）

宇都宮農業協同組合和牛改良専門部会は、JAなすの管内の生産者の牛舎を訪れ、飼育管理などを視察しました。

ウォーキング運動に取り組む会員ら

レクリエーション大会を開催（7月8日）

JA女性組織みどり会は、日環アリーナ栃木でレクリエーション大会を開催しました。

輪投げ大会に参加した皆さん

年金友の会豊郷支部輪投げ大会を開催（7月14日）

年金友の会豊郷支部は、支所職員も交えて輪投げ大会を開催しました。

※年金友の会会員募集中！ 詳しくは豊郷支所まで。

旬の農産物が並ぶ市場祭り会場

JAグリーンインターパーク第5回市場祭りを開催（7月25日）

JAグリーンインターパークで「第5回市場祭り（夏のフルーツフェア）」を開催しました。

13周年感謝セール会場の様子

JAグリーンかみかわち 13周年感謝セールを開催（7月26日）

JAグリーンかみかわちは開業13周年を迎え、「おかげさまで13周年感謝セール」を開催しました。

研修で講話するJA栃木中央会経営支援部の駒場博幸部長

JA役員がコンプライアンスへの理解を深める（7月27日）

JAうつのみやは、JA本所で「コンプライアンス役員研修会」を開催。役員がコンプライアンスの重要性を改めて確認し、JAへの信頼を高める適切な事業運営について理解を深めました。

梨をPRした阿部専門部長（右から3人目）とJA担当者ら

とちぎテレビ生出演 梨をPR（7月29日）

とちぎテレビ「イブ6＋（プラス）」内のコーナー「JAからこんにちは！旬のとちぎ」に梨専門部の阿部剛士専門部長とJA担当者が出演し、旬の梨をPRしました。

職員の指導を受けながら、夏野菜の袋詰めに挑戦する子どもたち

真剣に作業に取り組む子どもたち

「こども仕事体験フェスタin栃木」JAブースを出展（8月1日）

JAは、「こども仕事体験フェスタin栃木」にブースを出展し、農業やJA、農産物についてPRしました。参加した子どもたちは、選果・袋詰めなどを体験。楽しみながら農業やJAの仕事への理解を深めました。

支所企画旅行に参加した皆さん

8年ぶりに開催 支所企画旅行（8月7日）

JA豊郷支所は8年ぶりに支所企画旅行を実施し、東京ドームで巨人対ヤクルト戦を観戦しました。

組合員の皆さまからの地域の話題や活動報告をお待ちしております。写真を添えてお送りください。
※誌面の都合上、掲載されない場合もありますのでご了承願います。詳しくは総合企画課組合員広報係まで。
※最新のイベント情報などは、JAうつのみや公式インスタグラムに掲載しております。ぜひご覧ください。

Instagram

水稲

収穫の秋を迎えました。品質や食味を落とさないことを重点に作業を行いましょう。

適期刈り取りの励行

刈り遅れは品質低下を招きます。収穫時期が近づいたら、登熟積算温度および帯緑色籾率（籾の色）で収穫時期を判断し、葉色や出穂後の日数などに惑わされないようにしましょう（表1・図1）。

帯緑色籾率とは、不稔粒を除いた全籾数に対する黄緑色籾の比率で求められます。帯緑色籾率が10％程度になったら刈り取りを始め、3％程度で刈り終わるのが最適です。3％以下になると急激に品質が低下するので、大規模に作付けしている場合は、15％になったら刈り始めることも検討しましょう。

また、収穫作業に伴う収穫物への土や異物の混入および付着を防ぐため、刈り残しがない程度に高刈り（10㌢以上）しましょう。

表1　【出穂後日数と玄米品質】

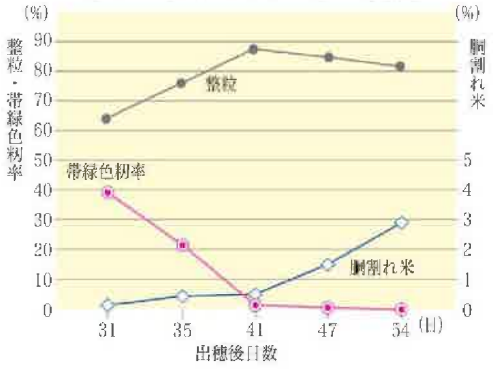


図1　収穫適期の判断の仕方

乾燥・調製作業

急激な乾燥や過乾燥は外観品質だけでなく食味も低下しますので、販売が不利になります。乾燥・調製の段階で胴割れ粒を増やさないよう、注意しましょう。

乾燥機は、1時間当たりの乾減率が0・8％以下になるように設定しましょう。また、高水分の籾を乾燥するときは、2～3時間通風乾燥した後に火を入れます。

15・1％以上の高水分米は、カビや肌ずれなどの品質事故を誘発しやすいので、水分計を使って14・5％の適正水分になるように調整しましょう。

籾摺機のロールは、最初の1回で80～85％剥ける程度に調整します。乾燥直後の温かい籾を摺ると胴割れしやすいので冷えてから行いましょう。

なお、整粒歩合80％以上を確保するためにも、ライスグレーダーの網目は1・85㍉以上を適正に使用し、未熟粒・異物の除去に努めましょう。

異品種および異物の混入防止対策

異品種や異物の混入には、購入者から厳しい目が注がれています。信用を得るためには生産段階から防止対策を徹底する必要があります。

収穫・乾燥・調製などの作業前には、品種が変わるごとに各機械の清掃を徹底しましょう。

混入事故は思わぬところで発生します。作業現場の清掃・整頓を徹底し、作業衣のポケットにも筆記用具やライターなど不用意に入れていないか確認して作業にあたりましょう。

また、近年イネ稲こうじ病が多発しています。農産物検査ではイネ稲こうじは異物として見られ、1粒でも混入が確認されると規格外になりますので注意して籾摺り作業をしましょう。

秋耕の実施

稲刈り後に早めにすき込みを行うことで、作付翌年の春に耕起するよりも温室効果ガスであるメタンの発生量を抑制します。また、再生稲（ひこばえ）が埋没し、イネ縞葉枯ウイルスを保毒するヒメトビウンカの越冬を防げます。秋耕により環境への負荷を軽減しつつ、同時にイネ縞葉枯病対策にも取り組んでいきましょう。

大豆

病害虫防除

栃木県農業総合研究センターによると、今後、吸実性カメムシ類が多く発生する可能性があるとのことです。また、紫斑病も昨年に引き続き注意が必要です。降雨などの影響により播種時期がほ場ごとにバラツキがあるため、病害虫の防除適期を見誤りやすいと考えられます。ほ場ごとに開花期などの生育状況をよく確認し、適期を逃すことのないよう注意しながら、防除対策を徹底しましょう。

青壮年の記！

～Youth&Middle～
ユース&ミドル

清原支部

清原支部は、今年度新たに1人が加入し、現在盟友41人で活動しています。

昨年末には、フードバンク活動として、地元「社会福祉法人飛山の里福祉会」へ梨、ニンジン、リンゴ、ハクサイ、ホウレンソウ、トマトなど、清原地区で生産された多彩な農産物を提供しました。

今年6月末には、近況報告を兼ねた意見交換会を開催しました。南部営農経済センターの職員も交えて、知識を深める貴重な機会になりました。

こうした活動を通じて盟友同士の交流を深め、協力しながら地域の魅力を発信しています。今後も地域に貢献しながら、未来の農業者確保を目指していきたいと思います。

現在、清原支部では、地域農業へのさらなる貢献と発展を目指し、新規盟友を募集しています。ご興味のある方は、盟友、営農企画課（028-625-3388）または南部営農経済センター（028-656-8484）まで、お気軽にご連絡ください。

フードバンク活動に参加した盟友ら

本部

青壮年部では、持続可能な農業の実現に向け、積極的な農政活動に取り組んでいます。

その活動の一環として、6月15日に、JA栃木青年部連盟主催による鈴木憲和農林水産大臣および農水省との意見交換に参加しました。当日は、農業資材価格の高騰や担い手不足など、農業を取り巻くさまざまな課題を踏まえ、農業経営の安定や地域農業の維持・発展に向けた支援を求めました。

今後も青壮年部では、活動を通じて生産者の声を行政へ届け、地域農業の発展に努めてまいります。

JA YOUTH

大臣に生産者の思いを伝える盟友ら

鈴木大臣（後列左から5人目）との記念撮影

●監修：和食料理人「割烹 船生」 船生 宣之 氏

「とちぎ育ち」を味わう 和食給食献立

～青壮年部が参加した「練馬区学校給食栄養士会向け 栃木県産農産物セミナー」のメニューをご紹介!～

主　食：白ご飯
主　菜：オリーブヤシオマスけんちん幽庵焼き
　　べっこう餡掛け
副　菜：茄子とトマトの揚げ浸し
汁　物：ほうれん草のすりながし

今回は、このお料理の中から副菜の**「茄子とトマトの揚げ浸し」**をご紹介します。

茄子とトマトの揚げ浸し

材料（1人前）

茄子	30g
トマト	25g
インゲン	8g
植物油	適量
胡麻油（植物油の1割程度）	適量
出汁（浸し汁用）	50ml
薄口醤油（浸し汁用）	6ml
味醂（浸し汁用）	6ml

※他のレシピは、JAうつのみやのホームページに掲載しています。

レシピはこちら

作り方

❶下ごしらえ
茄子はヘタを切り、縦半分にして皮目に細かく切れ目を入れ、3等分ほどに切る。トマトは湯むきをしてくし形に6等分する。インゲンはヘタを切る。茄子とインゲンを油で揚げる。

❷浸し汁を作る
鍋に出汁と調味料を合わせて火にかけ、トマト・茄子・インゲンを入れる。一煮立ちしたら、鍋のまま氷水で冷ます。

❸冷やしてから盛り付けて完成です。

直売所情報

9月のおすすめ品「梨」

みずみずしく、甘くておいしい「梨」の季節がやってきました。9月は、旬の梨がお買い求めやすい価格で店頭に並ぶ時期です。ご自宅で旬の味覚を楽しむのはもちろん、ご贈答用にもぜひご利用ください。地方発送も承っております!

※上三川いきいきプラザ農産物直売所は宅配便の取り扱いがありません。あらかじめご了承ください。

JAグリーンかみかわちでブドウ特売会を実施!!

地元生産者が丹精込めて栽培した、新鮮なブドウをお買い得価格で販売します。

9月12日（土）　9:00～　※無くなり次第終了

※数量限定販売となりますのでお早めにお越しください。
※気候や天候の状況により、納品が少ない場合もあります。あらかじめご了承ください。
詳しくは店舗まで　TEL028-674-2711

JAグリーンかみかわち 生産者さん募集中！

詳しくは直売所担当者まで
TEL：028-674-2711

JA直売所のご案内（9月）

店　舗	電　話	営業時間	定休日
「えきの市場」内JA農産物直売所	028-627-8438	10:00～20:00	なし
JAグリーンインターパーク	028-656-1212	8:30～17:00	なし
JAグリーンかみかわち	028-674-2711	9:00～17:00	第2火曜日（9/8）
上三川いきいきプラザ農産物直売所	0285-55-1515 上三川営農経済センター営農課（上三川）	9:00～13:00	第2火曜日（9/8）、いきいきプラザ閉館日（9/29、30）

知って納得！

資産管理講座

小森竜介法律事務所
弁護士

小森（こもり）　竜介（りゅうすけ）

近隣騒音の話

Q 私の隣の家からの生活騒音で、睡眠できない状況が続いています。なんとか法的規制によって取り締まることはできないでしょうか。

A 隣接住宅の生活騒音について、直接規制する法律はありませんが、地方自治体によっては条例で規制していることがあり、規制のある場合には、条例に基づいての措置が期待できます。

また、生活騒音の音量等が受忍限度を超えるときは、損害賠償や差止めの請求が認められることがあります。

工場などから発生する工場騒音や建設作業から発生する建設騒音、自動車の運行によって発生する自動車騒音については騒音規制法によって、騒音の規制が行われています。

しかし、一般市民の日常生活から発生する生活騒音については、直接これを規制する法律はありません。

生活騒音は、工場騒音などに比べれば、その音は小さく、継続する時間も短いほか、発生する音源もさまざまで、しかも、日常の生活そのものに原因しているため、一律に規制することには困難があるからです。

しかし、静かな生活環境が守られることは、精神的にも肉体的にも重要なことはいうまでもありません。このため、地方自治体によっては、公害防止条例などによって、夜間や早朝の生活騒音についての規制をもうけていることがありますので、その規制に沿った措置を期待することができます。

また、静かな生活環境は人間の健康な生活に欠かせないものであることから、生活騒音が、社会通念上、受忍すべき限度を超えている場合には、被った損害の賠償や騒音の差止めが認められます。

受忍限度を超えているか否かについては、周辺地域の利用状況、騒音発生の原因、騒音の大きさ、騒音の継続する時間、騒音の発生する時刻、騒音発生防止の措置の有無などの諸事情を総合的に考慮して判断されることとなります。

けんこうひゃっか

健康百科

上都賀総合病院
栄養課　係長

木村（きむら）　修一郎（しゅういちろう）

豚肉を食べて健康に

～夏の疲れを癒す～

夏バテや疲労回復には、ビタミンB1・たんぱく質・クエン酸・カリウムを含む食材をバランスよく摂ることが効果的です。今回は、豊富なビタミンB群・良質なたんぱく質を含む豚肉をオススメします。豚肉は、糖質をエネルギーに変えるビタミンB1の含有量があらゆる食品の中でもトップクラスで、牛肉の約10倍も含まれています。豚肉は捨てるところがないと言われている食材で、使う部位により、多種多様な料理の食材として親しまれています。

<ネギ類の野菜と一緒に>

ネギ類の野菜には香味成分のアリシンが含まれています。疲労回復に優れているビタミンB1をより効果的に吸収するにはアリシンを含むネギ類と一緒に食べることが大切です。今回は夏の疲れを癒す食材である豚肉を使った

【ゆで豚とナスの香味だれ】

を紹介します。

料理のポイント

豚肉を柔らかくゆでるには、お湯を沸騰させないこと。また、ゆでた豚肉を急激に冷やさないことがポイントです。

ゆで豚とナスの香味だれ

アリシンはネギ類の野菜を細かく刻むか、すりおろすことで効果アップ！！

材　料(2人前)

- 豚ロース(薄切り)……200g (2~3等分に切る)
- ナス……1本 (斜め薄切り水にさらす)
- トマト……1/2個 (くし形に切る)
- オクラ……2本 (塩で板ずりし、さっとゆでる)
- かいわれ…1/2束 (根元を切り食べやすい大きさに)
- サラダ油……大さじ2

『香味だれ』

- 長ネギ……1/2本 (みじん切り)
- ニンニク……1ケ (すりおろし)
- いりごま……少々
- 醤油……大さじ3
- 砂糖……大さじ1
- お酢……大さじ3
- ごま油……大さじ1

作り方

① 鍋にお湯を沸かし、豚肉をほぐしながら沸騰しないように弱火でゆっくりゆでる。肉に火が通ったら湯切りをする。

② フライパンに油を引きナスの両面を焼く。

③ 器にゆで豚とナス、彩り野菜を盛り付け、香味ダレをかける。

法律税務相談日のご案内

お悩みを弁護士・税理士に相談してみませんか？
原則、本所での対面相談ですが、遠方の方や足の不自由な方を対象に**最寄りの支所でのWEB相談**にも対応いたします。

小森竜介法律事務所
弁護士 小森 竜介 氏

ウチノ税理士法人
税理士 河内 太邦 氏

日 時 9月18日（金） 13:00～

費 用 無料（※事前予約が必要です）
（主な相談例）贈与、相続、土地の有効活用など

お申し込み方法 最寄りの支所の窓口、またはお電話にて、直接お申し込みください。

お問い合わせ先 最寄りの各支所まで

※相談はお申し込み順に、13：00から順番に行います。相談枠が埋まり次第、受付を終了します。
お早めにお申し込みください。

農作業事故から身を守ろう～コンバイン編～

コンバイン事故の未然防止を徹底しましょう！

◎コンバイン事故で多いのは転落・転倒事故です。

原因例1
機械の大型化により、後方や足下など死角が拡大する。
☑ 誘導者をつけて声かけ・合図を徹底！道幅を示すポールを設置！

原因例2
グレーンタンクに籾がいっぱいになるにつれて、
重心がタンク側に傾く。
☑ バランスを考えた無理のない適正な作業を心がけよう！

◎巻き込まれによる負傷事故にも要注意です。

原因例1
点検、整備、清掃時の巻き込まれ。
☑ 機械内部は回転物だらけ！必ずエンジンの停止を確認！

原因例2
手こぎ作業時の巻き込まれ。
☑ 稲から目を離さずに、確実に押し出す！手袋や軍手をする際は、手にフィットしたものを装着！

コンバインなど、農業機械を使用する際の安全対策は他にもたくさんあります。
より安全な農作業を徹底するためにも、詳しくは「農水省 農作業安全対策」で検索！

2026年10月限定

対象のJA直売所で
JAカードをご利用いただくと

ご請求時 10%割引！

JAカードをお持ちでない方は
ぜひお早めにご入会ください！！

≪対象期間≫
2026年10月1日（木）～10月31日（土）
≪対象店舗≫
JAグリーンインターパーク
JAグリーンかみかわち

※その他特典がいっぱい！
詳しくは店頭ポスター、または支所でご確認ください。

令和9年播種用 種子もみ 予約申込のご案内

種子もみのご予約承り中
お申し込みは管轄の営農経済センター経済課へ

受付期間
令和8年9月24日（木）まで

直播水稲にご興味のある方へ
省力化技術 「リゾケア」 申し込み受付中です。
なお「鉄コーティング」は取り扱い終了いたします。

マイカーローンキャンペーン実施中

JAネットローン
（三菱UFJニコス保証型）

今すぐ金利をチェック

2027年2月26日（金）まで

スマホからでもパソコンからでも
仮申込 OK!!

365日24時間
仮申込受付中！

JAネットローン 検索
https://ja-netloan.jp/

JAの
がん共済

「生きる」を応援する
一生涯の保障です。

がん共済が新しくなりました！

POINT 1
最新のがん治療の費用にも対応！

①入院・手術・放射線治療に加え、抗がん剤治療・ホルモン剤治療等のための通院・在宅医療も保障します。
②「月額保障」を基本として、入院日数にとらわれずに入院・治療等を包括的に保障します。
③高額な先進医療などに対しても万全な保障提供を行うため、がん先進医療共済金の通算支払限度額を2,000万円に引き上げました。

【浜辺美波】

POINT 2
がんによる収入減少などにも対応！

がんと診断された際、次回以後の共済掛金の払込みを免除する「がん診断時共済掛金払込免除特則」を付加することで、がん罹患による収入減少時なども安心して保障を継続いただけます。

POINT 3
保障の自在性向上！

「月額保障」をベースとし、「診断保障（一時金）」「先進医療保障」「がん診断時共済掛金払込免除特則」が選択可能となり、加入状況等に応じて必要な保障を合理的に選択できる、柔軟性の高い仕組みとなりました。

【仕組図】

▼30歳ご加入

■…必須保障　■…任意保障

不担保期間（90日）

- 所定のがん治療を受けたとき※1：1か月あたり **10万円**（がん治療月額共済金）
  ※入院および公的医療保険制度に基づく所定のがん治療を保障します。（月に1回を限度）
- 初めてがんと診断されたとき※2（がん診断共済金）：**100万円**
- がん再発時や長期治療のとき※3：**50万円**（がん診断共済金×50%）（がん治療一時金）
- がんによる先進治療を受けたとき※4
  （がん先進医療共済金）：1回あたり **先進医療にかかる技術料に応じて定める額**（上限2,000万円）
  （がん先進医療一時金）：1回あたり **がん先進医療共済金の額×10%**（上限30万円）
- はじめてがんと診断されたとき※5：（がん診断時共済掛金払込免除特則）**以降の共済掛金はいただきません**

※この共済には、死亡時における保障はありません。

一生涯保障

NEW!!

	旧がん共済※（日額保障）	新がん共済（月額保障）
入院	○	○
在宅医療	×	○
三大治療 手術	○	○
三大治療 放射線治療	○	○
三大治療 薬物治療（がん先進医療を含む）	×	○

※旧がん共済は契約日が令和7年3月31日までの契約となります。

※1入院および公的医療保険制度に基づく所定のがん治療を保障します。（月に1回を限度）　※2がん診断共済金は共済期間を通じて1回のみ支払われます。　※3がん診断共済金または前回のがん治療一時金の支払事由に該当した日からその日を含めて1年を経過した日以後、所定のがん治療を受けた場合にお支払いします（1年に1回を限度）。　※4先進医療とは、療養を受けられた時点において厚生労働大臣が定める先進医療をいいます（一定の施設基準があります）。がん先進医療共済金の額は、先進医療の技術料が1万円以上の場合は技術料の額、1万円未満の場合は一律1万円となります。がん先進医療一時金については、がん先進医療共済金の額の10%に相当する額（上限30万円）となります。
※5がん診断時共済掛金払込免除特則による共済掛金の払込免除については、ご契約日からその日を含めて91日目から保障いたします。

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

詳細な内容につきましては最寄りの支所までご連絡ください！　※ご連絡先は裏表紙をご覧ください。

【26090010194】

まちがいさがし

右のイラストには左のイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を左下の枠内の数字で探しましょう。

出題・イラスト：ゆきたけし

正解者の中から抽選で5名の方に千円分のクオカードをプレゼント！なお、当選者はクオカードの発送をもって発表に代えさせていただきます。

まちがいさがし　プレゼント応募方法

間違っている部分の数字を5つ、ハガキかホームページ内クイズ応募フォームからお寄せください。その他、写真やイラスト、詩・短歌・俳句など、おたよりもお待ちしております。

締め切り：9月25日（金）必着

※ペンネーム希望の方は必ず書き添えてください。

※頂いた写真などはお返しできませんので、ご了承願います。

切手

〒320-0031
宇都宮市戸祭元町3−10
JAうつのみや組合員広報係
おたより紹介 行

①まちがいさがしの答え
②あなたの郵便番号・住所・氏名・電話番号
③本誌に関するご感想・ご意見をお聞かせください。

たて書きでもよこ書きでも応募可能です。

ホームページアドレス　https://www.jau.or.jp

※皆さまから頂いた情報は、JAの事業および各種サービスの提供・案内・充実などの目的以外には利用いたしません。

おたより紹介

アメリカへ留学した女性が就農し、アスパラガスの栽培をしているのは頼もしいです。
（下野市　小池さん）

8月号の特集に新常勤役員の方々の抱負が掲載されていて、非常に身近で頼りになると改めて感じました。
（宇都宮市　恩田さん）

「管内インフォメーション」のキバナコスモスの記事を見て、秋には訪れてみようと思いました。
（宇都宮市　WOODBELLさん）

ニンニクを少し作っているので、「食卓を彩るとっておきレシピ」に掲載されていたナスの肉みそ炒めを作ってみます。夏バテ防止に！
（宇都宮市　田中さん）

地元なのに「橋くぐり地蔵尊」の存在を知りませんでした。近々行こうと思います。
（宇都宮市　小倉さん）

※お寄せいただいたおたよりは、内容の意味などを変更しない範囲で校正させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

8月のクロスワード　答え

こたえ「コウシエン」

1リ	5ツ	7シC	ユ	13ウ		20マ
2リ	ボ	ン		14キ	17ナ	コA
ク		8ジ	11コ		18イ	ト
	6シ	ユ	ウB	15セ	ン	
3カ	グ		12カ	イ		21オ
4エD	レ	9キ		16カ	19ク	ド
ル		10ミ	ジ	ンE	ギ	リ

編集後記

この度、当JA組合員広報係兼日本農業新聞通信員が、2025年度の掲載本数や見出しなどを総合的に評価する表彰において、北関東版紙面の最優秀賞を受賞しました。日々さまざまな話題をお届けできるのも、組合員の皆さまをはじめ、多くの方々のご協力があってこそです。ありがとうございます。

今後も、生産者やJAの取り組みがより分かりやすく正確に伝わる表現や言葉選びを心がけ、皆さまに親しまれる広報活動に努めてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。
（にこ）

宝木出張所だより

各支所の活動や地域の情報をお届けします！

宝木出張所のご紹介

新店舗になり6年目を迎えました宝木出張所（住宅ローンセンター併設）をご紹介します。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。職員一同お待ちしております。

《待合スペース》
ゆったりとした空間です。

《会議室》
ガラス張りで優しい光が差し込みます。

《相談ブース》
ガラスの囲いや、背もたれが長い椅子が特徴的です。

《応接室》
安心してご相談いただけるよう、窓のない構造です。

ホンモノの警察はSNSで連絡しません

ニセ警察詐欺に注意

警察官をかたり、捜査などの名目で、犯人が指定する方法で送金をさせ、金銭をだましとる特殊詐欺被害が多発しています。

実際に使われたニセ警察官の画像
（画像の一部を加工、警視庁提供）

ニセモノの警察官から連絡
SNSでの連絡を指示される

「あなたを逮捕する」
警察手帳や逮捕状などの画像が送信される

金銭を要求
「捜査のため、あなたの資産を調べます」
「○○の口座に振込（送金）をしてください」

被害発生

- ◆ 警察はSNSで連絡することはありません
- ◆ 警察は警察手帳や逮捕状など画像を送ることはありません
- ◆ 警察は捜査等の名目で金銭を要求しません

⚠ 相手が警察官でも金銭の要求は詐欺を疑いましょう。

警察庁 National Police Agency　都道府県警察

出典：警察庁ウェブサイト（https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/sos47/new-topics/241218/09.html）
「『ニセ警察詐欺』啓発チラシ」（警察庁）（https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/sos47/assets/img/new-topics/detail/241218/09/06-download.pdf）を加工して作成

支所・センター電話番号

中央支所	028-633-3467	上河内支所	028-674-3333
宝木出張所	028-622-6111	河内支所	028-673-3135
平石支所	028-661-4311	南河内支所	0285-48-2211
南部支所	028-656-1020	上三川支所	0285-55-1510
城山支所	028-652-0711	宇都宮北部営農経済センター	028-665-0550
北部支所	028-665-0003	宇都宮南部営農経済センター	028-656-8484
豊郷支所	028-624-8011	上河内営農経済センター	028-674-2164
清原支所	028-667-0151	上三川営農経済センター	0285-55-1511
姿川支所	028-658-6881	住宅ローンセンター	028-622-7100

各種お問い合わせはこちらへ

キャッシュカードの紛失・盗難
フリーダイヤル0120−08−2065

夜間・土・日・祝祭日の自動車事故（24時間受付）
事故受付センター フリーダイヤル0120−258−931

JA葬祭（24時間受付）
アトラス宇都宮ホール　028−660−5555
アトラスファミリーホール鶴田　028−633−9200
アトラス上三川ホール　0285−55−1555

LPガス関係　灯油・軽油・A重油の配送
フリーコール　0800−700−0085（通話無料）
※緊急連絡先028−633−0085

アグリジャンプ no.342 2026年9月号
【発　行】JAうつのみや　【編　集】総合企画課組合員広報係　【発行日】2026年9月1日
〒320-0031栃木県宇都宮市戸祭元町3-10
TEL 028 (633) 0029　FAX 028 (627) 3307　URL https://www.jau.or.jp